

全日本民医連 認知症懇話会ニュース

VOL.14(2019.11.1)
第9回認知症懇話会実行委員会
(岡山県民医連事務局)
Email:okayama@min-iren.gr.jp

ご参加・演題発表ありがとうございました！

学んだ実践を全国へ

全国から482名、154演題

9月27日～28日、「第9回全日本民医連認知症懇話会in岡山」がホテルグランヴィアで開催。全国から482名の参加者を迎えて成功しました。



熱心に耳を傾ける全国からの参加者たち

地元・真備での認知症実践

津田由起子さん



第1日目の講演では、地元岡山・真備地区で昨年被災し、介護事業所で認知症高齢者を支えた津田由起子さん(ぶどうの家)がお話されました。日頃から地域のなかで認知症実践を広げている講演

に、参加者たちは熱心に耳を傾けていました。

「私の職場でもやってみます」

分科会では口演とポスターセッションに分かれ154演題が報告。職場や地域で取り込まれるケアやまちづくりの実践に、参加者は興味



ポスターセッションも人気

津々。「私の職場でもしてやってみます」といった感想が出され、交流も深まりました。



夜の懇親会。ご当地「うらじゃ踊り」で大盛り上がり

認知症と共存のまちづくりを

待望の
本人座談
会には当
事者3名
が登壇。
そのおー



人樋口直美さんは「認知症と診断されても、これまでどおり、一人の人間として接してほしい」と話され、うなずく参加者たち。認知症と共存するまちづくりを考える大きな機会になりました。

大いに学び交流した2日間。認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを、全国の仲間とともに広げていきましょう。